

## 原子力空母横須賀母港を巡るこの20年の動き

★原子力空母のための12号バースの工事計画が明らかになる。

★米議会のGAOのレポート 通常型と原子力空母の費用対効果で、日本母港計画指摘

- 1998・11・29 原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会発足  
横須賀市長と神奈川県知事宛、原子力空母母港反対署名活動を開始。
- 1999・3・29 横須賀市長、12号バース汚染対策工事港湾法協議を完了。  
9・30 東海村JCOの臨界事故で2名の作業員が死亡。  
12・15 横須賀市長、12号バースクレーン護岸工事港湾法協議を完了  
12 横須賀基地前ウエルニー公園で釣れたハゼに奇形が発生。
- 2000・5・19 工事中の12号バースで護岸が崩落し、汚染土砂が海中に流出。  
6 横須賀市、国に先駆け、原子力軍艦事故防災マニュアルを作成。  
8・14 ロシア原潜クルクスが、原子炉停止、沈没、乗組員全員死亡事故  
8・30 内川の核燃料工場JNFの隣の工場で地雷の爆発事故発生。
- 2001・2・10 米原潜、ハワイ沖でえひめ丸に衝突、9名が死亡。  
5・14 原子力空母母港反対署名72245筆を横須賀市長に提出。  
6 12号バースの油タンク漏れによる有機塩素化合物の汚染が明らかに。
- 2002・2 12号バースの地下水から、国基準の1800倍のベンゼンが検出。  
8・20 横須賀市による原子力艦防災訓練が実施される。
- 2003・1・7 横須賀市、12号バース延長工事の港湾法協議を完了。  
1・14 読売新聞、2008年原子力空母横須賀母港で日米政府合意報道  
4・17 原子力空母母港反対署名約3万筆を横須賀市長に提出。  
5・10 原子力空母カール・ビンソン横須賀寄港。横須賀市も国に申入れ  
10・29 横須賀市原子力艦事故防災訓練に米海軍が初参加。  
11 国、12号バースの延長工事に着手。
- 2004・3・31 ファーゴ太平洋軍司令官、議会で2008年原子力空母配備証言  
4・26 沢田横須賀市長、初めて外務省に通常型空母継続配備を要請。  
6・8 横須賀市議会、原子力空母母港反対の意見書を可決、国に提出。
- 2005・2・10 クラーク海軍作戦部長、議会で2008年原子力空母整備証言。  
2・17 沢田横須賀市長通常型空母継続配備を外務省に要請。松沢知事も

- 3・18 市民の会、30万7043筆の署名を横須賀市に提出。
- 4・19 イングランド海軍長官、議会で後継空母は日本と協議中と証言。
- 6・26 蒲谷新市長当選。
- 8・2 横須賀市、12号バース追加工事の港湾法協議を完了。
- 9 衆議院選挙で自民党が大勝
- 10・28 日米政府、原子力空母母港を発表（背後に空母削減JFK退役）
- 12・4 原子力空母母港反対、市民訪米団が訪米して米国政府に要請行動
- 2006・4・17 米海軍 ファクトシート発表
- 4 商工会議所、市議会訪米団が地ならし訪米。
- 6・14 蒲谷市長、原子力空母容認。
- 7 原子力空母事故被害想定、上沢レポートとトンブソンレポート
- 9・14 原潜ホノルル出港時に放射能漏れ。
- 10・1 原子力空母母港化の是非を問う住民投票の会設立、
- 11 第1次住民投票条例直接請求集め 41551筆提出
- 2007・2 原子力空母住民投票条例案を、市議会に直接請求・否決
- 2・14 ストップ原子力空母裁判始まる。
- 4・26 横須賀市、原子力空母のための浚渫工事港湾法協議を完了。
- 7・3 639名の原告で浚渫工事差止仮処分を提訴。
- 8・10 原子力空母のための浚渫工事始まる。
- 8 横須賀市、原子力空母安全対策説明会を、各地で開催。
- 11 初の日米合同原子力防災訓練、市民は参加できず。
- 2008・3 第2次住民投票条例直接請求集め 5万筆以上
- 5 原子力空母住民投票条例案を、再度市議会に直接請求・否決
- 5・22 原子力空母GW火災、
- 7 いない！原子力空母発足。
- 7・31 浚渫工事差止仮処分、横須賀支部が却下決定。
- 8・7 原潜ヒューストン、横須賀入港中にも放射能漏れの発表。
- 9・25 原子力空母GW入港
- 12・16 市民参加なしの日米原子力防災訓練が行われる。
- 2009・1・5 初の原子力空母定期修理開始、米国から600人の労働者が。

- 2・15 イージス艦ラッセン、横須賀港内で釣り舟と衝突事故。
- 3・28 原子力空母から放射性廃棄物搬出。
- 4・14 原子力空母航行禁止訴訟、横浜地裁が開始。
- 6・28 市長選挙 吉田市長誕生、
- 9・11 衆議院選挙 民主党政権誕生
- 2010 3・31 原子力空母のエード・メモワール違反問題で、外務省要請
- 4・10 核密約とエード・メモワールでの岡田・吉田会談
- 4・16 原子力空母から放射性廃棄物搬出に対する抗議行動。
- 2011・3・11 福島原発事故 GW緊急出港、放射性液体気体排出、RR被曝  
→ 脱原発の市民運動が市内に広がる。  
地震時の原子力空母の危険性を宣伝し、防災範囲拡大を要請。  
地域防災訓練も、日米合同訓練も従前の想定のまま。
- 2012 横須賀市の常設型住民投票条例制定への働きかけ
- 3 横須賀市の自治基本条例案継続審査。  
横須賀市議との基地問題懇談会が始まる。
- 12 横須賀市の住民投票条例案、市議会で否決される。  
トモダチ作戦被曝水兵裁判が提訴される。
- 2013 吉田市長 外務省へ 防災マニュアル見直し要請  
市民アンケートを行う。
- 7・24 ストップ原子力空母裁判敗訴  
GWのヘリ、三浦市に墜落
- 2014 各方面に、原子力空母の原発並の防災範囲拡大を要請。
- 10 レーガン被曝水兵裁判訪米取材
- 10・25 オスプレイ横須賀に初飛来
- 2015 1万人アンケート  
原子力空母GW/RR航海日誌が公開される。
- 10・1 原子力空母RRに交代
- 10・18 レーガンの艦内の艦載機ホークアイで、火災事故が発生。
- 11・6 原子力艦災害対策マニュアル見直し検討作業委員会開始。
- 2016 国の原子力艦災害対策マニュアル見直し作業、事務局へ要請

- 国、防災範囲は変えず、ただしOILにより避難対策が必要に。
- 2017 横須賀市地域防災計画の改訂へ、パブリックコメントの取り組み  
放射能防災パンフ改訂への働きかけ
- 6 市長選挙 上地市長当選
- イージス艦連続事故、海保要請、米海軍レポート紹介市民シンポ
- 2018 イージス艦連続事故問題パンフ発行、  
フィッツジェラルド事故につき検察庁は不起訴に。ミリウス配備  
6 横須賀市議会、イージス艦安全航行意見書採択  
南北会談、米朝会談
- レーガン、台風回避のため、2度出港
- 原子力空母母港10年
- 10・19 ヘリシーホークが、レーガンの甲板上に墜落事故。
- 11 14名のレーガン原子炉担当者、麻薬事件で処分される。
- 11・12 レーガン艦載機ホーネットが、墜落事故。
- 11・25 原子力空母・市民の会が、設立20周年集会。